

バイオものづくり革命推進事業

純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発

事業の目的・概要

未利用資源 純国産木質バイオマスを用いて、国内初のセルロース系バイオエタノールおよびバイオケミカル向け素材を開発する

【研究開発項目①-b/補助】：未利用資源の収集・資源化のための開発・実証 -未利用資源となる、純国産木質バイオマスの活用

【研究開発項目②-a/補助】：産業用微生物等の開発・育種 -木質バイオマスに特化する菌体の育種、開発

【研究開発項目③ /補助】：微生物等による目的物質の製造技術の開発・実証 -商用化・スケールアップ技術開発

【研究開発項目④ /補助】：微生物等によって製造した物質の分離・精製・加工技術の開発・実証
-精製物のアプリケーションとしての適合性開発、副産物の利活用技術開発

【研究開発項目⑤ /委託】:バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発 -CORSIA適格燃料認証取得への取り組み

事業期間

2024年度～2029年度(6年間)

実施体制

※太字：幹事企業

日本製紙株式会社 (①-b, ③, ④, ⑤)

Green Earth Institute株式会社 (①-b, ②-a, ③, ④)

事業規模など

□ 事業規模： 約248億円 □ 支援規模*： 約97億円

*補助率 ①-b:1/2, ②:1/2, ③:2/3~1/3, ④:1/3

事業イメージ



- ◆ 日本製紙、Green Earth Institute、住友商事の3社（森空プロジェクト）により、日本製紙の工場内で、年産数万キロリットルの国産材由来バイオエタノールを製造
 - ◆ 主に国産SAFなどの原料としての利用を前提とし、低炭素バイオ燃料の早期社会実装や、我が国のエネルギー安全保障に寄与
 - ◆ エタノール製造過程で副次的に生成されるカーボンニュートラル由来CO₂を用いたCCUや発酵プロセスの残渣の有効活用等により、脱炭素社会の実現に貢献

